

吹田貨物ターミナル駅開業ならびに 百済貨物ターミナル駅リニューアル開業について

平成25年3月13日

梅田駅基盤整備事業に伴い、鉄道・運輸機構*1が進めてきた同駅の機能を吹田信号場と百済駅に移転する工事が竣工したことを受け、3月16日ダイヤ改正に合わせて、新たなコンテナ取扱駅として「吹田貨物ターミナル駅」が開業し、百済駅は「百済貨物ターミナル駅」と改称してリニューアル開業します。いずれも着発線荷役（E&S）方式の駅として開業することから、同タイプの駅は全国で29駅になります。

1. 吹田貨物ターミナル駅概要

- (1)所在地 大阪府吹田市、摂津市
- (2)総面積 約27.2ヘクタール
- (3)主な設備 コンテナホーム4面（始終着2面、中継2面）
荷捌上家 約2,700㎡
荷役線5線、着発線13線（荷役線2線を含む）
- (4)年間貨物取扱量 100万トン以内（中継貨物を除く）

2. 百済貨物ターミナル駅概要

- (1)所在地 大阪市東住吉区、平野区
- (2)総面積 約15.8ヘクタール
- (3)主な設備 コンテナホーム3面（始終着3面）
荷捌上家 約1,500㎡
荷役線6線、着発線6線（荷役線2線を含む）
- (4)年間貨物取扱量 （改良工事による増強分として）100万トン以内

※ 梅田駅は、明治7年12月1日に大阪駅貨物扱所として開設され、昭和3年12月1日に梅田駅と改称して今日まで138年余りの間、大阪の貨物輸送の拠点として重要な役割を果たして来ましたが、本年3月15日をもってコンテナの取扱いを終了し、同3月31日限りで廃止となります。

*1 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構